

団体名	特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸		
団体の所在地	神戸市東灘区	代表者名	理事長 中村 順子

1. 事業名	まちとりのくるくるコミュニティー事業		
2. 実施期間	2009年4月～2010年3月		
3. 主な実施場所	丹波市氷上町		
4. 活動形態	環境パートナーシップ事業		
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<p>「ちょっと田舎暮らしを体験したい」「田舎に居場所がほしい」という人たちを主な対象として、農業体験や丹波の自然や風土、歴史にふれる体験を実施。交流拠点となる田畑を借り、月2回を基本として丹波を訪問し、交流しました。前年度からの継続の方がほとんどで、農業体験を中心に交流するかたわら、高齢者向け配食の食材、障害者作業所のバザー用の野菜を購入し、届ける活動にも取り組みました。年末には、野菜(野菜ボックス)の販売にも取り組み、利用者からは、定期的な販売の希望も上がっています。</p> <p>訪問日: 4月12日～3月27日の25回+野菜販売2回(12月24日、12月25日) 参加者: のべ83人(通年参加登録者: 6人、単発参加者: 3人) 内 容: 農業体験(米づくり、野菜づくり) 自然・名所訪問: 丹波少年自然の家(桜)、かたくりの里、岩瀧寺、独鈷の滝、今出せせらぎ園(蛍)、高源寺(紅葉)、達身寺、恐竜化石発見地 など</p>		
6. 成果・反響・ 反省点等	<p>丹波の自然にふれ、新鮮な気づき・学びをすることができました。農業体験の合間に、農業の現状・課題についてのお話を聞くとともに、生産者と消費者の意識の差(農薬の使用、野菜のかたち、価格など)について話し合い、分かり合うことができました。継続参加の方が多く、お互いの関係性が深まり、信頼関係が生まれてきています。野菜販売については、「参加(現地での農作業)はできないが、野菜を定期的に購入したい」という声もいただいています</p> <p>今回参加のメンバーが自主的にグループを結成し、氷上との交流を継続していくことになり、継続的な交流、ネットワークの核として期待しています。</p>		
7. 成果物			
8. 活動写真・説明	 <p>農作業中心に四季折々の丹波の自然を満喫!</p>		